

13 あいさつ東山（日進市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	あいさつ東山
2 事業名	学童の安全確保
3 事業実施結果	<p>○地域の防犯意識の高揚を図るため、のぼり旗を設置し、あいさつ・声掛け運動をより効果的なものとする</p> <p>今回の事業により、のぼり旗7種計21枚を購入し、自治会の協力を得て、団地集会所周辺、児童公園、通学路の集合場所に立てた。</p> <div data-bbox="399 873 925 1220" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="965 806 1460 1310" data-label="Image"> </div> <p>右写真は登校時の様子である。写真の電柱の立て看板には「ちかんちゅうい」の注意書が見られる。朝8時頃の10分間に224名の学童が通学する。草色のベスト着用者は「あいさつ東山」のメンバーである。メンバー約20名が子供たちに「おはよう、いってらっしゃい」の挨拶を夏休み、冬休み、春休みを除いて毎朝登校日には欠かさずに行っている。</p> <p>金曜日には、3時下校の1～3年に「お帰り」のお迎えの挨拶を交わしている。火、金は青パトが下校する低学年生を迎える。夏休み明けの9月2日には今回購入した新しい「あいさつ運動」ののぼりが子供たちを迎えた。</p> <div data-bbox="438 1713 877 2094" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="965 1713 1396 2094" data-label="Image"> </div>

8月中旬、通学路に面している民間介護施設（右側写真）の建物の南角に、施設運営者に防犯のぼりの設置許可を求めたところ快諾を得た。女性の運営者であるが、多忙の中、学童の下校時には「おかえりなさい」のお迎え活動をしている。介護施設利用者や職員も下校学童に声掛けをしている。子供の元気な声が要介護の高齢者に元気を与えている感がある。



10月12日、台風19号襲来に備えてのぼりを片付けた。のぼりは太陽光による劣化と風による損傷で、半年位で写真左に見られるようにボロボロになる。金網等にのぼり支柱を結わえ付けていたが取り外しに手間がかかる、これを写真右のように改良した。これで、台風時に簡単にのぼりを取り外して退避できる。

11月6日に新しく設置した防犯カメラ2台の設置場所に「防犯カメラ作動中」の立て看板、「防犯カメラ設置地区」ののぼりを立てた。

○女性参加者の増加を図る

参加の呼びかけを実施したが、まだまだ十分な成果は上がっていない。ボランティア活動であるから参加者数は変動するとはいえ、年度当初は3～4名であったが、現在は4～6名と微増である。会員とは別に、介護施設の女性職員が要介護の高齢者と共に積極的に下校学童に声掛けをしてくれるようになり、この女性職員の寄与を考慮すれば、女性参加者は増加したといえる。

○防犯カメラの設置により犯罪発生の抑止を図るとともに、効果の検証を行う

小学校に近い場所の通学路は市街化調整地区にあつて民家が少ない。民家がまばらな地区が300mもある。昼間でも人通りが少ないので、学童を守るためにこの地区に2基の防犯カメラを設置することとした。1基は今回事業とあわせて設置し、もう1基は日進市に申請した。防犯カメラを2基設置して始めて通学路の安全性が高められるので両者は不可分である。そこで、本事業の防犯カメラと連動する、日進市申請の防犯カメラについても略述する。

日進市の南北幹線道路である瀬戸・大府線（県道57号線）につながる学童通学路に、市の助成で防犯カメラを取り付けた。ここに購入した「防犯カメラ設置地区」ののぼりを立てて、不審者、不審車の立ち入りに対する防犯カメラ監視の警告を行っている。

今回設置した防犯カメラは西向きで、瀬戸・大府線まで約50m長の路上の人物・車両が識別出来る。通学路は防犯カメラ設置位置から20m位西で

南向きに左折する。従って、通学路のほんの一部 20m位が撮影範囲に入る。しかし、通学路延長上にある県道 57 号線からの進入口までの車両を監視しているの、車両がらみの犯罪の防止に効果的である。

前述したように、民家がまばらな地区の学童通学路長は 300m位の距離になるが、防犯灯が設置されていない。日没が早い冬期の部活後の帰宅では、学童は夜道を帰ることになる。市に防犯灯の設置を申請しているが順番待ちである。防犯灯柱があれば、それに防犯カメラを併設するのは容易である。



日進市助成の防犯カメラの写真

カメラは、日東コミュニティセンターに設置して使用している。来年度に日進市に設置申請中の通学路の防犯灯に移設、本設置する計画である。



12月11日(水)、財団法人日本財団より青色パトロール車の贈呈が南小学校校庭であった。東山区児童 224 名が参加し、東山区区民の多数の参加があった。日進市長、愛知警察署長の挨拶、東山区児童代表の挨拶があった。

青パトは、学童登下校見守り・交通安全指導、地域防犯パトロール、3団地合同夜間パトロールの分野で活躍している。

毎朝、224名の学童が通過する地点に新青パトを止め、「いってらっしゃい」の見送りをしている。また、火、金の週2回、学童下校時に「お帰りなさい」のお迎えの見守りをを行っている。写真は登校時の学童と青パトの新車、あいさつ運動ののぼりも見える。

○その他事業に付随した防犯活動の実施

1 合同パトロールの実施（年4回）

愛知県の『安全なまちづくり県民運動』に連動して夏、秋、年末に警察パトカー、日進市の青パト、東山区の青パト、区の構成3自治会役員・有志で合同パトロールを実施した。（写真左）

2 日進市の夜警出発式に参加

市内28自主防犯団体、35自主防災会、消防団と共に年末の夜警出発式に参加し、防災・防犯・防火の啓発活動に協力した。（写真右）



(1) 事業実施の成果及び課題

○地域の防犯意識の高揚を図るため、のぼり旗を設置し、あいさつ・声掛け運動をより効果的なものとする

のぼり旗が諸所に見られるようになったことで、防犯意識は高揚されたものと思われる。子供たちのあいさつへの反応は、彼らは毎年入れ替わるので継続をすることが大切である。小学生を対象としているが、中学生が向こうから挨拶を掛けてくれるのに出会えるのは喜びである。

○本団体の女性参加者の増加を図る

女性参加者の増加も、女性に合った制服も、まだまだ初期の目標には達していない。今後も、呼びかけの方法を工夫するとともに、積極的に声掛けを続けていきたい。

○防犯カメラの設置により犯罪発生を抑止を図るとともに、効果の検証を行う

通学路は民家の少ない草むらの中を通る。防犯灯も設置されていない。冬季には高学年学童が部活などで下校時刻が遅くなると、通学路は暗くなる。とても不用心である。

日進市に防犯灯の申請をしたが今年度は設置できないとのことであったが、今回事業で設置したものと合わせて、防犯カメラを設置してもらえた。これで、不審車、不審人物に対する通学路への侵入抑制効果は大きいと予測される。また、防犯カメラ作動中の表示板やのぼりを立てて通学路の安全性は向上した。

4 成果と課題 及び今後の 取組み

(2) 今後の取組み

◎地域の元気な高齢者が子供達と挨拶を交わせるように、高齢者をあいさつ運動に呼び込む。

◎あいさつ東山の女性メンバーを増やす広報活動を行う。

◎市に申請中の防犯灯は来年度には設置されるので、新たな防犯カメラをこの防犯灯柱に併設する。

◎東山区には18台の防犯カメラが動いている。平成27年稼働が最古である。更新時期に達しているのもあるので、順次保守点検を進める。